

放課後等デイサービス 生活介護事業

ふれあい広場・支えあいの会 通信

特定非営利活動法人

元気福祉就労支援ボランティア

220-0073横浜市西区岡野2-3-30 TEL:045-320-0732

Email: hureaihiroba0901@gmail.com

毎日曜日に子ども食堂のいーふらん様に場所をお貸しています。そのお礼にと4月1日渡辺会長はじめ多くの職員の皆さんが音楽用品、ゲーム用品等のプレゼントを携えて訪問してくださいました。素敵な交流のひと時でした。



交流のビデオ

子ども食堂には11時から並べれます。スタッフの皆さんとの出会いを楽しみに毎日曜にお弁当をもらいにいらっやいます。

ガッツビート西5階でのフードパントリー
利用者の皆様に一生懸命品物を照会していらっや



今月の社会体験学習は青葉区あざみ野にある「横浜市民ギャラリーあざみ野」にしました。ここにはたくさんの絵画、写真等の美術作品が展示されていました。ゆっくりと時間をかけて鑑賞させていただきました。美術作品の見学は心を豊かにしてくれますね。



隣のさわやか公園で野外食です。外で食べるお弁当は各別です。



散歩大好きです。岡野公園のバラは綺麗です。



散歩大好きです。



滑り台大好きです。



◎駅のトイレ調査隊

6月13日(金)は駅のトイレ調査の日です。話し合いの結果、東急池上線の洗足池駅に決定しました。調査のルートは平沼橋→西谷→大岡山→旗の台→洗足池です。五木田さんは平沼橋のエレベーターを見つけたと迅速にボタンを押してくださいました。大岡山駅では、大井町線の大井町方面行きエレベーターの位置が分かりにくい状況でした。親子連れに尋ねましたが、回答が二子玉川方面のエレベーターに行ってしまう結果となりました。その後、目黒線ホームに戻り、大井町方面行きエレベーターに乗りました。旗の台駅でも迷いました。



池上線の車両は三両編成であり、上等な路面電車に乗っている感覚があります。最終的に洗足池駅に到着しましたが、トイレは工事中でしたので、一つ手前の長原駅へ向かいました。長原駅には赤ちゃんのおむつ交換台のみが設置されていました。カメラマンの稲垣さんが撮影を担当してくださいました。五木田さんは今日はずっと手を振り声を出していらっやいました。長原という地名は荏原群馬込村宇長原に由来しています。

げんき 1階 (重症心身障がい児部) 5名

5月中の活動内容

音楽リズム
ストレッチ・マッサージ
バランス・上肢・下肢動作
音楽遊びなどの集団による、コミュニティの接触(別フロア)

学習等の動作

数・字・描く・発声・言語等の知育系(お絵描き、数字、書字、パズル)
手・上肢・足・下肢・体幹の遊び
工作、パソコン・タブレット操作等(工作、積み木)
楽器等の音源や音楽遊び(楽器、ミラーボール等)
感覚遊び(画用紙、積み木、光ミラーボール、木、粘土、植物、等)
ADL基礎動作・介助・看護(飲食・トイレ・掃除・移動動作等)

別枠

マッサージ・読み聞かせ・音楽遊び

季節別イベント

こどもの日、運動会応援

お出掛け

根岸森林公園、鶴ヶ峰、日ノ出町等



さわやか 2階 (肢体不自由・視覚障がい児部) 10名

5月 今月の支援からピックアップしました

○ 製作活動

紙粘土に手形を押して、プレートを製作中です。粘土のひんやり、グニャグニャな感触を楽しめました。色を塗って仕上げます。
ステンシルで紙や布に模様をつけました。指サック式のタンポを使いました。

○ そら豆の収穫

三ツ沢の畑に連れて行っていただき、そら豆の収穫を体験しました。
摘みだてのそら豆のさやを剥き、お湯で茹でて食べました。
「おいしい!」と笑顔がほころびました。

○ お散歩

時間と体制が許す限り、お散歩に行っています。サミットや、岡野公園に行くことが多いのですが、車椅子を連ねたり、年少のお友達のお世話をしてくださったりと、一緒に行くお友達との関わりを楽しんでいます。



すこやか 5階 (知的・発達障がい児部) 10名

5月に入り、新一年生の子供も新しい環境に少しずつ慣れてきたと思います。到着したら、まず、連絡帳を出して、それから課題に取り組んで、...といった流れもよく把握してくれていて、みんなそれぞれ、しっかりとってきた印象です。最初は少しぎこちなかった表情もほころんで、にっこりスマイルを見せてくれるようになり、スタッフも安心です。

工作にも取り組んで、初めてハサミを使う経験をしたり、戸惑うこともありましたが、みんなそれぞれ器用に使ってくれました。繰り返しの作業になりますが、なんでも少しずつ、一歩ずつですね。時に、ほかの子どもと比べてしまったり、自分の中で諦めなければならぬ事実を一つ一つ飲み込むことが難しいときもあると思います。子供のために自分の時間が作れなかったりもします。

しかし、子供と一緒にいることで、出会ったことで、今まで気づけなかった人の痛みややさしさに気付けることもあるでしょう。困難をまた一つ乗り越えることで強くなったりもします。

もし、それでもツライとき、受け止めるのが難しく消化しづらいとき、そんなときは、頑張っている自分を少しでもいいので褒めてあげてください。自分で自分を楽にさせてあげることは、大人が大人であるために必要なスキルの一つだと思います。誰かを傷つける訳でもなく、自分の中で堪えて、しっかり前を向こうとしている姿勢は、とても素晴らしいと思います。

さて、そんな感じですが、今日も5階の子どもは元気にはしゃいで楽しんでます。一生懸命、生きていてニコニコです。私たちスタッフも一生懸命、支えていきます。これからも、宜しくお願いいたします。

